

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		デイスサービスまりも平野		公表日		令和7年4月22日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		活動スペース等に考慮しながら、気持ち落ち着ける空間作りにも取り組んでいる。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		ガイドラインに沿った配置数や有資格者を配置しております。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		使用する空間はバリアフリーになっており、必要と思われる個所には手摺りを設置している。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		日々の清掃・消毒、光触媒コーティングでの衛生管理など、清潔かつ安全に活動できる環境作りを行っております。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		子どもが落ち着きたい時やゆっくりと過ごしたい時などには必要に応じて対応している。		
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		日々の朝礼、終礼、ケース会議など、専門スタッフのみではなく、各スタッフとともに目標設定と振り返りを行い、広く職員が参画しております。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		ご意見やご意向を参考にさせていただき、業務改善に努めています。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		普段からコミュニケーションを取り業務についてや利用者について感じる所や気づいた点などを話し業務改善に努めています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		定期的に第三者による外部評価を行い、評価結果を基に業務改善に努めています。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		外部研修への参加や月に一度の社内勉強会を開催し職員のスキルupに努めています。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		適切に支援プログラムを作成し、HPにて公表しています。また、適時支援プログラムなどの見直しを行いより良い支援に努めています。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		保護者や利用者の意見をヒヤリングすると共に相談支援専門員の方とも連携し支援計画を作成している。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		児童発達支援計画するには児童発達支援管理責任者だけでなく、支援に関わる職員とミーティングを行い、共通理解の基で検討会を行っています。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		児童発達支援計画を基に職員間で情報共有を行い、計画に沿った支援を検討し実施しております。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		専用のシートを設け状況把握に努めており、別途個別にインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しております。		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		モニタリングの際に各支援内容についてのご説明を行い、児童発達支援計画（個別支援計画書）にて、設定されたねらい及び支援内容を踏まえながら、設定した支援内容を記載させて頂いております。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		朝礼や終礼などチームミーティングにて活動内容を話し合い立案しております。		

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		他事業所との連携を取り交流を行うことで情報の交換などプログラムが固定化しない様に取組んでいます。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		集団活動での体験を重視しつつ、個別活動の支援についても話し合い計画を立て支援を行っています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		開始前にチームミーティングを行っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		活動や送迎での様子などをミーティングで伝え合い、振り返りや情報共有を行っています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		ミーティングで様子を伝え合うと共に記録をとり支援の検証・改善に繋げております。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		定期的にモニタリングを行い、ニーズや課題を基に児童発達支援計画の見直しを判断し、適切な見直しを行っています。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児童発達支援管理責任者や施設長、キーパーソンとして対応しているスタッフなど、そのこどもの状況をよく理解した物が参画しています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		地域の保健、医療（主治医や協力医療機関など）、障がい福祉など各関係機関と連携を取り支援を行う体制を整えています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		必要に応じて担当者会議を開催し、支援引継ぎをはじめ、情報共有と相互理解に努めています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		必要に応じて担当者会議を開催し、支援引継ぎをはじめ、情報共有と相互理解に努めています。	
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外泊研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)		○	児童発達支援センターだけでなく外部の研修等に参加するなどスキルアップの機会を設けている。	
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○		地域主催のイベントに参加など、地域の子どもの交流を持てる活動を行っています。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		送迎時や専用連絡ツールで活動内容や課題についてのご報告やご相談など、随時情報提供を行い、共通理解に努めています。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		支援計画書記載の家族支援プログラムの実施や、ご家族等の参加出来る研修のご案内など、随時情報提供を行っています。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		ご見学の際やご契約時に運営規定、支援プログラム、利用者負担などについてご説明させて頂いております。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		モニタリング時など、こどもやご家族様の意思の尊重や意向を確認する機会を設けています。	

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		児童発達支援計画をご確認いただきながら支援内容のご説明を行っております。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		モニタリング時以外にも随時ご相談を受け付けており、ご要望に合わせた面談やアドバイスを行っております。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		ハロウィンや夏祭りなど、保護者参加型のイベントを開催し、きょうだい同士の交流の機会や支援、保護者様同士の交流の場となる様な取り組みを行っております。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		些細な事からでもご相談を受け付けており、ご家族のご要望に合わせて、意見共有の場や担当者会議など行わせて頂いております。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		ホームページやブログ、その他配布物を通じて発信させて頂いております。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報の取り扱いについては法令に基づき、専用連絡ツールを用いて保護者間のみでの情報共有を行っております。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		専用連絡ツールにて保護者様へ日々の活動様子やお知らせなど、情報の共有を行っております。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		夏祭りイベントなど、地域住民の方々へのご招待やお知らせをさせて頂き、より地域に開かれた事業運営を図っております。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定するとともに、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		感染症対応マニュアルや台風時の利用に関するマニュアル等、お知らせプリントなど配布物を通してご説明させて頂いております。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		業務継続計画（BCP）を策定すると共に非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っております。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		事前に服薬や持病に関する状況をヒヤリングし、必要に応じて対応方法などの情報共有を行っております。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		食物アレルギーなどのあるこどもについて、医師の指示書など、事前にご確認させて頂き、指示書に基づく対応の周知を行っております。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じるなど安全管理が十分された中で支援を行っております。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		台風時の利用に関するマニュアル等、お知らせプリントなど配布物を通してご説明させて頂いております。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		毎日の朝礼時、終礼時に事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討を行っております。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		虐待防止に関する社内勉強会の実施、研修会への参加など適切な対応を行っております。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		身体拘束について組織的に検定、都度改定を行い、必要に応じてご説明や了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しています。	